

宇5 水道管通水時における管内部の可視化

求める技術：②⑩

1 課題を抱える業務の内容

水道管の通水時に行う仕切弁操作は、口径、管の状況、既設管の布設年度によっても大きく変わり、作業を行うには多くの経験を積まなければならない。

2 課題の詳細

仕切弁の操作を行うと濁り水が発生してしまうことが多い。
濁り水が発生すると、水を綺麗な状態に戻すまで時間がかかり、周辺住民へも影響がでてしまうことがある。

3 こんな技術を求めています！

不斷水で管内の錆びや水の状況を確認できる小型のカメラ、センサーなど
既設消火栓やサドル等からカメラの挿入ができるもの

4 技術の導入により代替が期待される業務

濁り水の発生の抑制

5 事業規模・業務量

管工事件数 年間約70件 ※1工事につき最低1回以上通水作業有